

第 1 班

1. タイトル：仕事を減らして身軽になろう！～カイゼンからカイゲンへ～
2. 報告書の概要：地方分権の進展、行財政改革の推進など自治体を取り巻く状況から、職員の仕事量は増加し、モチベーションの低下や能率の低下を招いている。仕事量を根本的に見直し、時間的・精神的な余裕が生まれることで、仕事の効率が向上し、組織力アップ、職員のワークライフバランスの促進、住民サービスの向上が図られると考え、次の提言を行った。①事業を減らすしくみ（改良版事務事業評価）、②仕事の中のムダをなくすしくみの導入（係一体で取り組む超勤縮減プロジェクト）、③意識を変えるしくみの導入（幹部職員の意識の醸成）
3. 引用している事例：①福岡市（行政評価の一環としての事業仕分け）、②大分県（定時に帰るプロジェクト）、③佐賀県（SMILE PROJECT）
4. アンケート調査の有無　：　有